



元気と夢を育む真鍋小学校

学校便り No.7

土浦市立真鍋小学校（小中一貫校）

令和6年1月12日（金）

文責 近藤 恒重

## 最後の学期 3学期スタート

1月9日（火）、第3学期の始業式を行い、今年度最後の学期である3学期がスタートしました。登校してきた子ども達の笑顔を見てうれしく感じました。

始業式では、代表児童による作文発表（3学期の抱負）がありました。

今回は6年2組の中田いろ葉さんが3つの抱負を発表してくれました。「中学校に向けて苦手な教科を得意にすること」「代表委員として二分前着席やあいさつを積極的に呼びかけること」「お世話になった方々へ感謝の気持ちを伝えること」とありました。中学校へ向けて学習や生活面で自分ができることをしっかりがんばっていこうという意味がよく表れていました。特に「感謝」の気持ちを持つことができるのはとても素晴らしいと思いました。

校長からは、「一人一人が進級や卒業に向けて具体的な目標を立て、達成するために努力してください。そして、先生や友達とよい思い出をつくってください。」と話をしました。

全学年とも今の学年で登校する日は50日前後です。それぞれの目標に向かって努力を重ね、誰もが充実した1年間だったと思えるような学期にしてほしいものです。



## ㊦ 堂々と 校庭彩る 真鍋の桜

「土浦郷土かるた」真鍋小学校地区大会が、1月7日（日）、真鍋小学校地区子ども会育成連合会の主催で二中地区公民館において行われました。真鍋小の子供たちが2人組でチームを編制し、真鍋小学校区内の五地区から10チームが参加しました。リーグ戦そしてトーナメント戦を行い、白熱した戦いが繰り広げられました。4位までが中央大会進出となるそうです。子ども達に、土浦市に対する意識を高めてもらおうという目的で作られたかるたであり、始められた大会ですので、それらを通し、子ども達の郷土愛が高まってほしいと思います。「㊦堂々と 校庭彩る 真鍋の桜」のように真鍋小もとり上げられています。



2月3日（土）に各地区を勝ち抜いてきた代表が市の武道館に集まり中央大会が行われます。ぜひ真鍋小地区から上位進出することを願っています。がんばってください。

## 校長室より 今年もよろしくお願いたします

今年も鹿島神社で、花火の音とともに年を越しました。コロナ禍を過ぎ活気が戻ってきたようです。苦難を経験した分、喜びや楽しさで活気に満ちた1年であることを願います。今年辰年です。子ども達には、龍のような力強さを持って何事にも取り組んでいてもらいたいと思います。

さて、年明け思いもよらない出来事が起こりました。「能登半島地震」「羽田空港事故」です。亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、ご遺族の皆様へお悔やみ申し上げます。また、被災された皆様にも心よりお見舞い申し上げます。地震・津波についてはつくづく恐ろしさを感じます。この災害によって命を失いたいと思っていた人は誰一人いません。子ども達には、命の尊さを実感してほしいと思います。まだ生き続けたかったのにここで終わってしまった人達の命、そんな人達のためにも私たちは命を大切にしていかなければならないことを子ども達に語り続けていきます。

今年の心構えとして、「先手必勝」を掲げました。戦うということではなく、「未然防止」という意味です。学校ではヒヤリ、ハッとすることが多くあります。大事にはいたっていませんが、取り返しがつかなくなる前に「防ぐ」、「備える」を意識して子ども達の指導にあたっていきたいと思います。私感ばかり述べてまいりました。申し訳ありません。どうぞ今年もよろしくお願いたします。